

株式会社エクストランス

X-MON3

VMware 監視 設定手順書

目次

1. VMware ハードウェア監視	3
2. VMware ホストマシン監視	4
3. VMware ゲストマシン監視	5
4. VMware データストア使用率監視	7
5. VMware 物理 NIC 監視.....	8
6. VMware 仮想スイッチ監視	10
7. VMWare 監視におけるグラフについて	11

1. VMware ハードウェア監視

この項では以下のサービス監視用コマンドについて説明します。

- VMware ハードウェア監視

VMware CIM API を利用して VMware サーバのファン回転数、電圧、温度の監視を行います。情報が取得できない場合は **CRITICAL** を出力します。

サービス監視用コマンドで以下の項目を設定する必要があります。

設定項目	内容
接続アカウント名	VMware サーバへの接続アカウント名です。
接続パスワード	VMware サーバへの接続パスワードです。
ベンダー	監視する VMware サーバのメーカーを指定します。auto, dell, hp, ibm, intel, unknown のうちいずれかの文字列を指定する必要があります。メーカーが不明な場合は unknown を指定してください。
タイムアウト (秒)	監視チェックを終了する時間です。

2. VMware ホストマシン監視

この項では以下のサービス監視用コマンドについて説明します。

- VMware ホスト CPU 使用率監視
- VMware ホストメモリ使用率監視

VMware vSphere API を利用して VMware ホストマシンのリソース使用率の監視を行います。リソース使用率がしきい値を超えた場合、警告を出力します。情報が取得できない場合は **CRITICAL** を出力します。

サービス監視用コマンドで以下の項目を設定する必要があります。

設定項目	内容
接続アカウント名	VMware サーバへの接続アカウント名です。
接続パスワード	VMware サーバへの接続パスワードです。
WARNING しきい値 (%)	WARNING を出力するしきい値です。
CRITICAL しきい値 (%)	CRITICAL を出力するしきい値です。

3. VMware ゲストマシン監視

この項では以下のサービス監視用コマンドについて説明します。

- VMware ゲスト CPU 使用率監視
- VMware ゲストディスク使用率監視
- VMware ゲストメモリ使用率監視

VMware vSphere API を利用して VMware ゲストマシンのリソース使用率の監視を行います。リソース使用率がしきい値を超えた場合、警告を出力します。情報が取得できない場合は **CRITICAL** を出力します。

サービス監視用コマンドで以下の項目を設定する必要があります。

設定項目	内容
接続アカウント名	VMware サーバへの接続アカウント名です。
接続パスワード	VMware サーバへの接続パスワードです。
仮想マシン名	監視を行う仮想マシン名です。
WARNING しきい値 (%)	WARNING を出力するしきい値です。
CRITICAL しきい値 (%)	CRITICAL を出力するしきい値です。

以下の監視については、監視対象の VMware ゲストマシンに VMware tools をインストールする必要があります。

- VMware ゲストディスク使用率監視

- 仮想マシン名の確認方法

仮想マシン名は VMware vSphere Client から以下の赤線枠の箇所を確認を行います。下図の場合では「vm01」、「vm02」等を指定します。



4. VMware データストア使用率監視

この項では以下のサービス監視用コマンドについて説明します。

- VMware データストア使用率監視

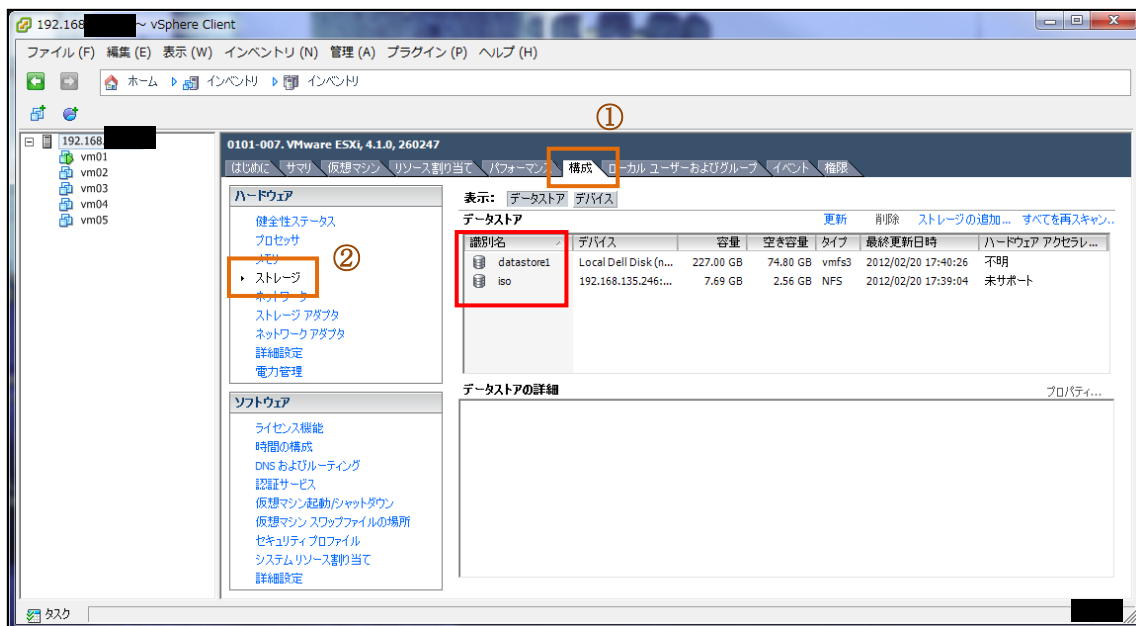
VMware vSphere API を利用して VMware データストアの使用率の監視を行います。使用率がしきい値を超えた場合、警告を出力します。情報が取得できない場合は **CRITICAL** を出力します。

サービス監視用コマンドで以下の項目を設定する必要があります。

設定項目	内容
接続アカウント名	VMware サーバへの接続アカウント名です。
接続パスワード	VMware サーバへの接続パスワードです。
データストア名	監視を行うデータストア名です。
WARNING しきい値 (%)	WARNING を出力するしきい値です。
CRITICAL しきい値 (%)	CRITICAL を出力するしきい値です。

- データストア名の確認方法

データストア名は VMware vSphere Client から以下の赤線枠の箇所を確認を行います。下図の場合では「datastore1」または「iso」を指定します。



5. VMware 物理 NIC 監視

この項では以下のサービス監視用コマンドについて説明します。

- VMware 物理 NIC 送信量監視
- VMware 物理 NIC 受信量監視

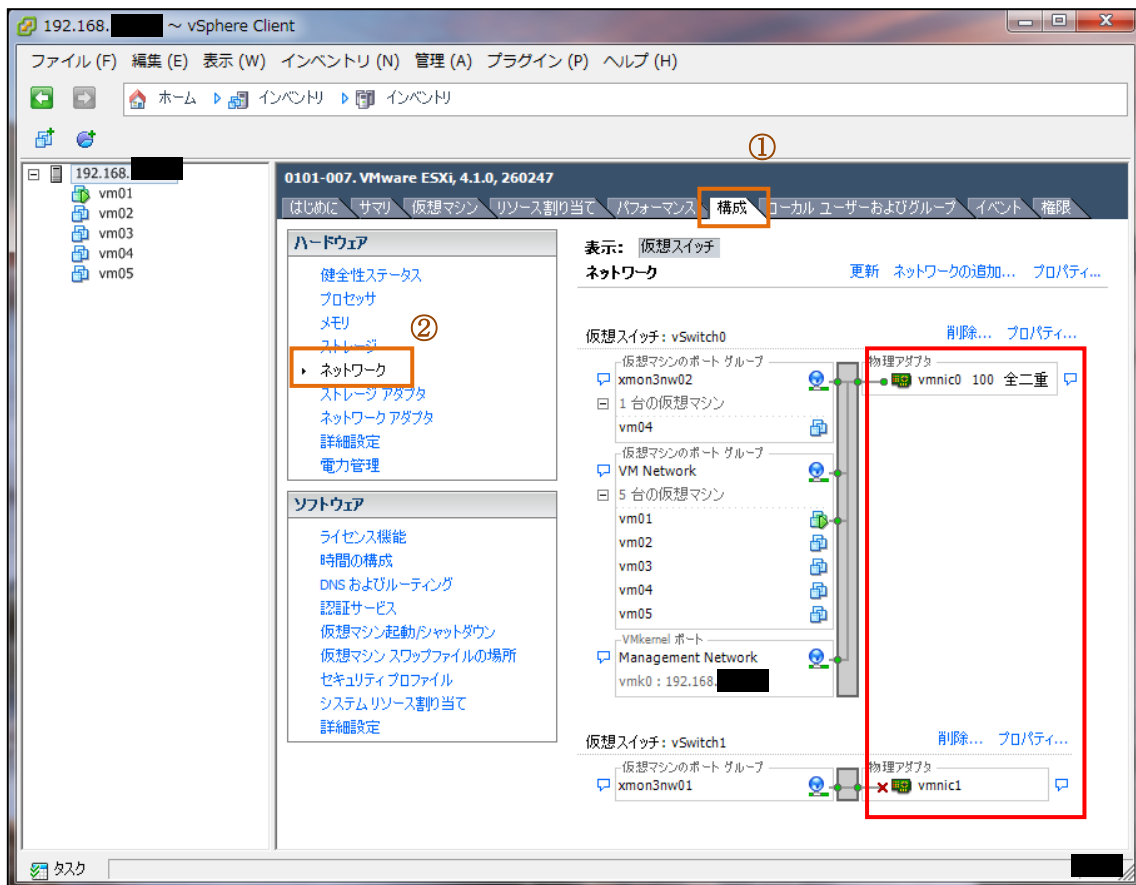
VMware vSphere API を利用して VMware ホストマシンの物理アダプタの送受信量の監視を行います。送受信量がしきい値を超えた場合、警告を出力します。情報が取得できない場合は **CRITICAL** を出力します。

サービス監視用コマンドで以下の項目を設定する必要があります。

設定項目	内容
接続アカウント名	VMware サーバへの接続アカウント名です。
接続パスワード	VMware サーバへの接続パスワードです。
NIC 名	監視を行う物理アダプタ名です。
WARNING しきい値 (Kbps)	WARNING を出力するしきい値です。
CRITICAL しきい値 (Kbps)	CRITICAL を出力するしきい値です。

- NIC 名の確認方法

NIC 名は VMware vSphere Client から以下の赤線枠の箇所で確認を行います。下図の場合では「vmnic0」または「vmnic1」を指定します。



6. VMware 仮想スイッチ監視

この項では以下のサービス監視用コマンドについて説明します。

- VMware 仮想スイッチ送信量監視
- VMware 仮想スイッチ受信量監視

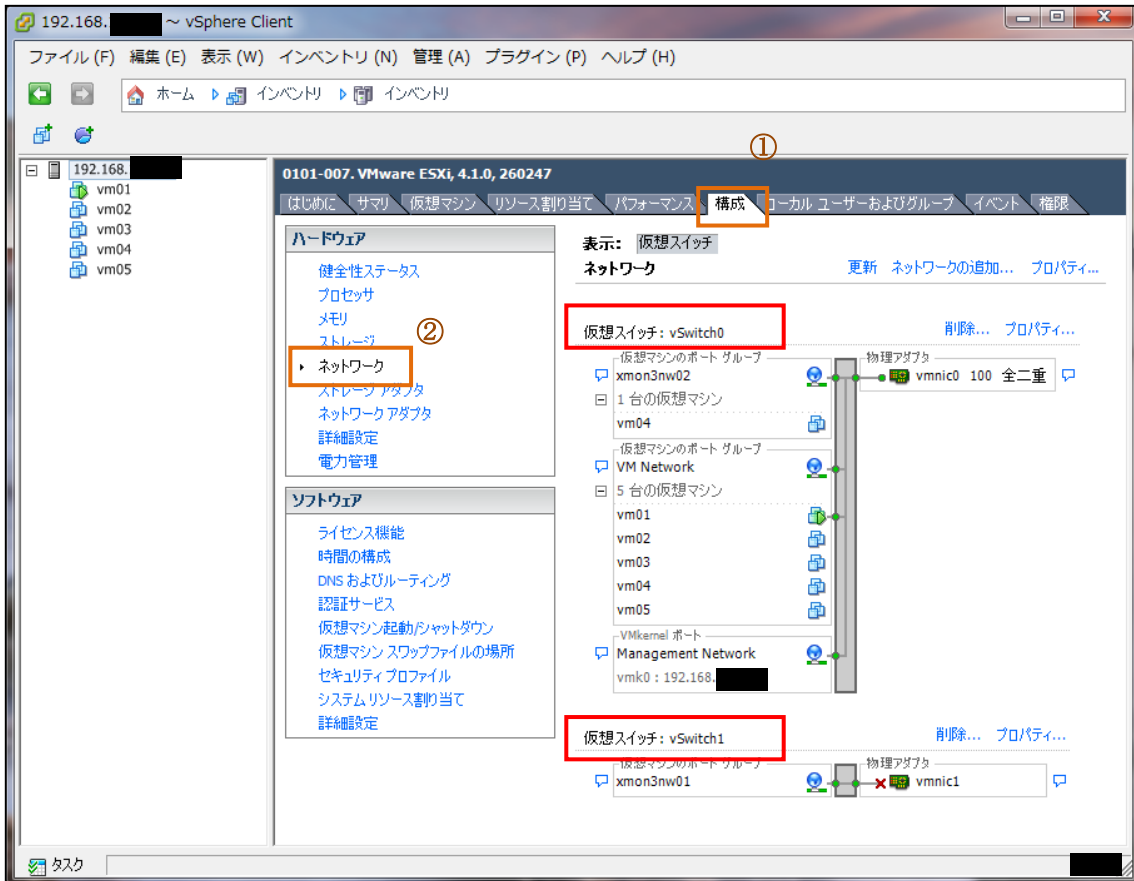
VMware vSphere API を利用して VMware 仮想スイッチの送受信量の監視を行います。送受信量がしきい値を超えた場合、警告を出力します。情報が取得できない場合は **CRITICAL** を出力します。

サービス監視用コマンドで以下の項目を設定する必要があります。

設定項目	内容
接続アカウント名	VMware サーバへの接続アカウント名です。
接続パスワード	VMware サーバへの接続パスワードです。
仮想スイッチ名	監視を行う仮想スイッチ名です。
WARNING しきい値 (Kbps)	WARNING を出力するしきい値です。
CRITICAL しきい値 (Kbps)	CRITICAL を出力するしきい値です。

- 仮想スイッチ名の確認方法

仮想スイッチ名は VMware vSphere Client から以下の赤線枠の箇所を確認を行います。下図の場合では「vSwitch0」または「vSwitch1」を指定します。



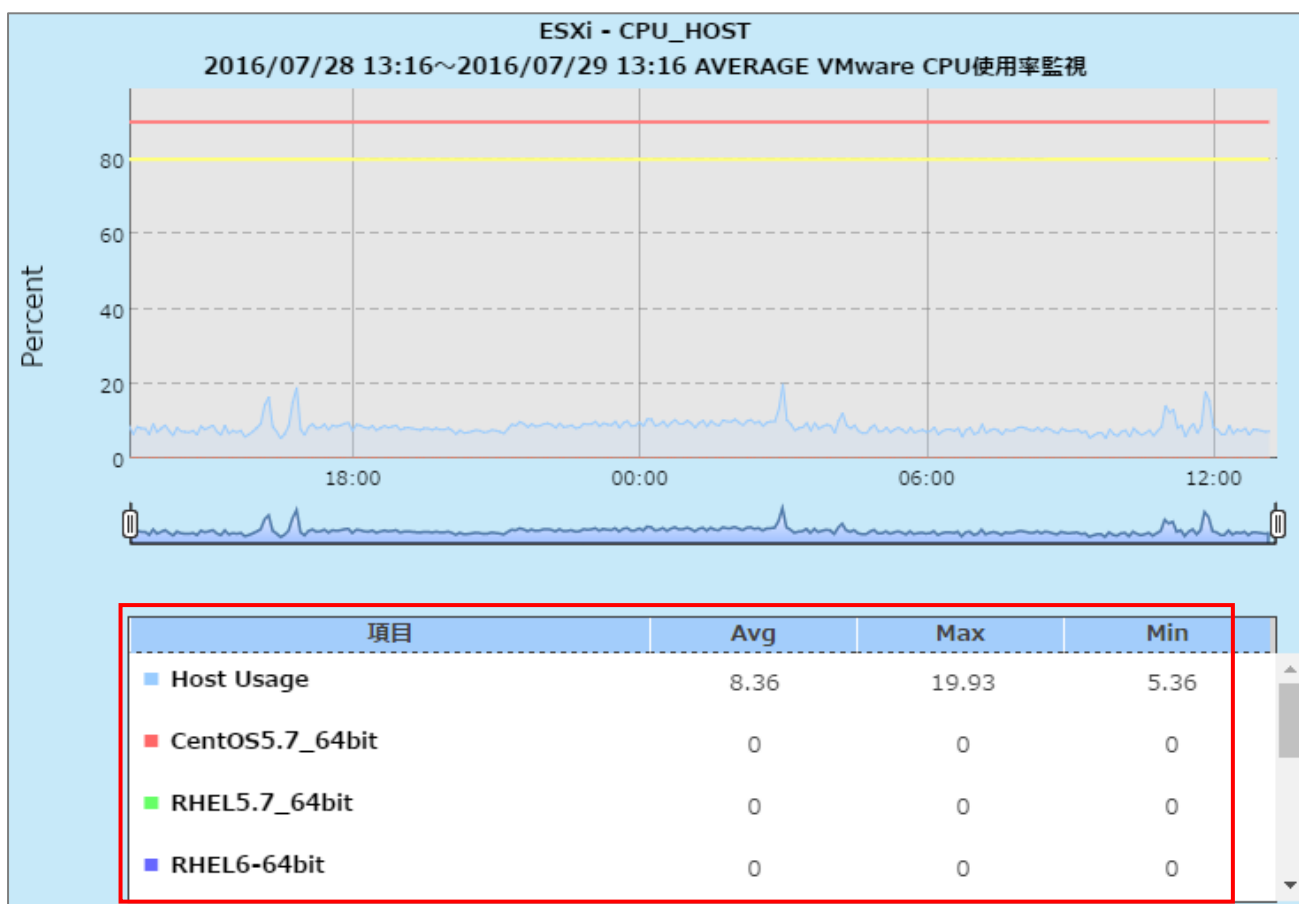
7. VMWare 監視におけるグラフについて

この項では以下の VMWare 監視 グラフについて説明します。

- VMware ホスト CPU 使用率監視
- VMware ホストメモリ使用率監視
- VMware データストア使用率監視
- VMware 物理 NIC 送信量監視
- VMware 物理 NIC 受信量監視
- VMware 仮想スイッチ送信量監視
- VMware 仮想スイッチ受信量監視

VMWare 監視サービスを登録し、正常に監視が始まると取得した情報よりグラフを生成します。

下図は「VMware ホスト CPU 使用率監視」のグラフ生成です。



グラフは、ゲスト OS 其々の情報を積み重ねた値を表示します。また、「■Host Usage」は全ゲスト OS の情報を合算した値を表示します。

※赤枠凡例部分はゲスト OS を削除した後も表示されます。ゲスト OS 名を変更した場合も、変更前のゲスト OS が削除されず、変更後のゲスト OS 名が新たに凡例に追加されます。